



鉄道友の会 選定 2020年 島秀雄記念優秀著作賞決定

■単行本部門（3件）

- ・清水武、田中義人「名古屋鉄道車両史」アルファベータブックス（2019）
- ・青田孝「鉄道を支える匠の技」交通新聞社（2019）
- ・在羽テヌヒト（田嶋玲）「黎明期の貨車移動機」交現社在羽製作所（2019）

■定期刊行物部門（1件）

- ・高田圭「JR 奈良線の歴史を探る」（エリエイ『レイル』No. 109 掲載）

■特別部門（2件）

- ・「ニチュ機関車図鑑」（イカロス出版）ほか一連の著作に対して（岡本憲之）
- ・「むかし、秋保まで鉄道が走ってた。」ほか一連の企画に対して（東北福祉大学・鉄道交流ステーション）

鉄道友の会（会長・須田 寛、会員約 3,000 名）は、島 秀雄記念優秀著作賞選考委員会（選考委員長・大賀 寿郎）による選考のもと、2020年島 秀雄記念優秀著作賞として、上記の単行本部門3件、定期刊行物部門1件、特別部門2件の合計6件を選定することに決定いたしました。

賞の趣旨、選定対象の解説、選定理由などについては、別紙をご覧ください。

2020年 島 秀雄記念優秀著作賞選定対象の解説・選定理由

■単行本部門（3件）

・清水武、田中義人「名古屋鉄道車両史」アルファベータブックス（2019）

本書はさまざまな歴史的背景を持ち、合併した各社の車両を統合しつつ発展した名古屋鉄道（名鉄）の車両群について、網羅的かつ体系的に解説した労作です。大判の採用による見やすい誌面レイアウトにより、掲載資料の価値や魅力が十分に活かされていることも評価できます。著者はいずれも名鉄の元社員で、趣味者としての視点や立場を大切にし、貴重な資料や写真を活用して完成度の高い内容に仕上げられています。このように内外の情報に熟知した「趣味者」がその経験・知識を活かし、趣味者に限らず一般読者にも十分通用する内容の書籍として出版したことは、今後出版される同種の出版物の模範を示す著書として、島秀雄記念優秀著作賞に選定しました。

・青田孝「鉄道を支える匠の技」交通新聞社（2019）

本書は、鉄道業務を支えるさまざまな鉄道関連企業の現場を訪ね、「ものづくり」の角度から鉄道業の全体を検証している著作です。通常、メーカーは鉄道事業者の規格に適合するよう受注生産しています。受注数量がそれほど多くなく、規格も事業者によって細かく異なりますので、メーカーは大量生産方式ではなく「技」で対応してきました。そして、近年ではこの「技」が国際的に認められつつあります。今後の日本が世界のなかで果敢に生き残るためのキーワードのひとつとして「ものづくり」が叫ばれて久しいですが、本書は「技」で勝負する鉄道関連企業へのきめ細やかな取材とわかりやすい解説を交えた格好の図書であり、島秀雄記念優秀著作賞に選定しました。

・在羽テヌヒト（田嶋玲）「黎明期の貨車移動機」交現社在羽製作所（2019）

本書は、一般に機械扱いとされ、「車籍」を有しないことから多くの鉄道趣味者の関心の対象外とされてきた「貨車移動機」について、戦前から戦後初期にかけての日本における発達過程を研究した書籍です。国鉄の貨車移動機だけでなく、その先駆的事例である「諸星式ウキンチ車」のほか、移動機によらない貨車入換作業の動力化事例についても触れられています。また、業界誌のほ

か市町村史や公文書などを細かく参照しており、著者の高い史資料調査能力が伺われるとともに、図表や写真が適切に織込まれるなど見やすさの工夫もなされています。以上を踏まえ、先行研究が少ない分野について取り組んだ好著として、本書を島秀雄記念優秀著作賞に選定しました。

■定期刊行物部門（1件）

高田圭「JR 奈良線の歴史を探る」（エリエイ『レイル』No. 109 掲載）

本著作は、JR 奈良線の沿線に残る歴史的構造物を現地調査し、地元の歴史館で保存されている古文書などを活用しながら、JR 奈良線の歴史に迫っています。その範囲は、私設鉄道の奈良鉄道として発足した当時から、現在に及んでおり、JR 奈良線の全体像を俯瞰できる著作としてまとめられています。特に、これまで取り上げられる機会の少なかった施設の変遷についても多角的に研究・検証が行われており、興味深い内容にまとまっています。同線に詳しくない読者には全体像がつかみにくく、多方面の話題を取り上げているため全体構成もややまとまりに欠けますが、路線史研究のひとつの成果であり、本著作を島秀雄記念優秀著作賞として選定いたしました。

■特別部門（2件）

・「ニチュ機関車図鑑」（イカロス出版）ほか一連の著作に対して（岡本憲之）

受賞者は、軽便鉄道や鉱山鉄道、森林鉄道のほか遊覧鉄道などにも関心を持ち、『全国鉱山鉄道』（JTB パブリッシング・2001）、『軽便鉄道時代』（同・2010）をはじめ、こうした比較的マイナーな分野に関する資料性の高い著作を過去に多数発表しています。その中でも近年出版された『加藤製作所機関車図鑑』（同・2014）、『ニチュ機関車図鑑』（イカロス出版・2017）は、未知の領域ともいえる産業用機関車の分野にメーカー側の協力を得てアプローチした点が特筆され、メーカー側の提供によるカタログや納入台帳などの付属資料も充実し、完成度の高い内容になっています。以上より、これらの一連の著作を島秀雄記念優秀著作賞の特別部門にふさわしい業績として選定しました。

・「むかし、秋保まで鉄道が走ってた。」ほかの一連の企画に対して（東北福祉大学・鉄道交流ステーション）

受賞者の東北福祉大学・鉄道交流ステーションは、2007年、仙山線に東北福祉大前駅が開業したことを機会に設けられた同大の付属施設で、学芸員を配置し、地元の鉄道愛好者団体の協力を得るなどして、これまで38回の企画展を開催しています。出版活動も企画展の内容から、「鉄道交流ステーションブックレット」として刊行し、「むかし、秋保まで鉄道が走ってた。」はその4冊目にあたります。本書は地元の利を生かした丹念な資料収集に加え、関係者へのインタビューも交え、写真もバランスよく収録されており、資料としても、また読み物としても完成度の高い内容です。既刊の「鉄道交流ステーションブックレット」や企画展と合わせてその企画を高く評価し、島秀雄記念優秀著作賞の特別賞に選定しました。

島 秀雄記念優秀著作賞とは

島 秀雄記念優秀著作賞は、毎年 1 回、鉄道分野に関する優れた著作物または著作物に関わる功績を選定し、鉄道および鉄道文化の発展に寄与することを目的として、2008 年に新設された賞です(今回が第 13 回目となります)。

賞の名称は、鉄道友の会初代会長で東海道新幹線の実現に功績のあった島 秀雄氏(1901～1998)が、会の発展に尽くされた功績を永久に記念し、後進にとって励みとなる賞にするため、ご遺族の了解をいただいて、そのお名前を冠することとしたものです。

賞の部門は、以下の通りです。

- 1) 単行本部門…… 書籍の中から優秀な作品を選定します
- 2) 定期刊行物部門……定期刊行物に掲載された著作物の中から優秀な作品を選定します。
- 3) 特別部門…… 単行本や定期刊行物以外の著作物で選考委員会が特に認めるもの、または著作物の企画、複製、展示、頒布、その他著作物に関わる功績を選定します。

賞の候補は、過去 3 年間(今年は 2017 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日まで)に発行された著作物(日付は、単行本、定期刊行物とも当該著作物に記載された年月日を基準)を対象としました。なお、著作者は、鉄道友の会会員に限りません。

賞の選考にあたって、鉄道友の会に島 秀雄記念優秀著作賞選考委員会を組織しました。賞のうち、単行本部門と定期刊行物部門は、鉄道友の会会員から推薦を行い、選考委員会を選定いたしました。また、特別部門の推薦および選定は、選考委員会が行いました。

なお、今回の島 秀雄記念優秀著作賞選考委員会は、鉄道関係の著作物に精通した鉄道友の会会員 9 名(委員長・大賀寿郎)で構成しました。また、今回の候補の推薦は、2020 年 2 月より推薦受付を開始し、2020 年 4 月 30 日(木)に締切り、単行本部門 22 作品、定期刊行物部門 8 作品が推薦されました。

添付資料一覧 (併せてご覧ください)

- ・鉄道友の会のご紹介
- ・過去の選定作品・対象一覧

本件につきましてのお問い合わせは、下記宛にお願いいたします。

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4 丁目 7-16 ヒューリック市ヶ谷ビル 3 階 鉄 道 友 の 会 (本部事務局) 担当：鹿山、小野田 Tel. & Fax. 03-5215-0305 URL http://www.jrc.gr.jp/

<添付資料>

第1回（2008年）選定

■ 単行本部門（2件）

- ・ 齋藤 晃「蒸気機関車 200 年史」NTT 出版
- ・ 関田 克孝「のりもの絵本－木村貞男の世界－」フレーベル館

■ 定期刊行物部門（3件）

- ・ 江原 光昭「京成電軌の四輪単車を再考する」
（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2007年3月増刊号掲載）
- ・ 小西 純一「余部橋梁」
（交友社『鉄道ファン』2007年7月号／8月号掲載）
- ・ 名鉄資料館「知られざる名鉄電車史」
（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2007年7月号／8月号掲載）

■ 特別部門（1件）

- ・ 鉄道史資料保存会（会報「鉄道史料」の継続出版に対して）

第2回（2009年）選定

■ 単行本部門（3件）

- ・ 長船 友則「山陽鉄道物語」JTB パブリッシング
- ・ 湯口 徹「日本の蒸気動車」ネコ・パブリッシング
- ・ 河田 耕一「鉄道風景 30 題」機芸出版社

■ 定期刊行物部門（1件）

- ・ 澤内 一晃「東京市の静脈物流と私有貨車」
（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2008年1月増刊号掲載）

■ 特別部門（1件）

- ・ 田部井 康修「上州を走ったトラム 伊香保電車」東武博物館

第3回（2010年）選定

■ 単行本部門（4件）

- ・ 和久田 康雄「日本の市内電車」（成山堂書店）
- ・ 関 崇博「門鉄デフ物語」（ネコ・パブリッシング）
- ・ 奈良崎 博保「九州を走った汽車・電車」（JTB パブリッシング）
- ・ 宇都宮 照信「食堂車乗務員物語」（交通新聞社）

■ 定期刊行物部門（1件）

- ・ 大熊 孝夫「雪国を駆けぬける「スノーラビット」」
（交友社『鉄道ファン』2009年5月号掲載）

■特別部門（1件）

- ・「日本鉄道旅行地図帳の刊行」に対して（新潮社）

第4回（2011年）選定

■単行本部門（3件）

- ・小林 正義「国鉄EF13形」ネコ・パブリッシング（2010）
- ・安保 彰夫「出石鉄道」ネコ・パブリッシング（2010）
- ・大田 治彦「西鉄電車おもいでアルバム」樞歌書房（2010）

■定期刊行物部門（2件）

- ・初澤 毅「緩衝式車止めの形態と分類」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2010年7月号～9月号掲載）
- ・堀岡健司「鉄道の掲示と行先標の変遷」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2010年10月号掲載）

■特別部門（1件）

- ・「京阪電鉄百周年に関する著作物」の企画に対して（京阪電気鉄道）

第5回（2012年）選定

■単行本部門（2件）

- ・白土 貞夫「銚子電気鉄道」ネコ・パブリッシング（2011）
- ・三橋 克己、葛 英一、藤本 邦彦「オハ71形の一族」車両史編さん会（2011）

■定期刊行物部門（1件）

- ・渡利 正彦「岐阜地区の進駐軍輸送の実態を探る」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2011年5月号／6月号掲載）

■特別部門（2件）

- ・「機関車表DVD版の制作」（沖田 祐作）に対して
- ・「貨車に関する一連の著作」（吉岡 心平）に対して

第6回（2013年）選定

■単行本部門（4件） ※発行日順

- ・辻村 功「鉄道メカニズム探究」JTBパブリッシング（2012）
- ・鉄道友の会客車気動車研究会「日本の食堂車」ネコ・パブリッシング（2012）
- ・小関 和弘「鉄道の文学誌」日本経済評論社（2012）
- ・鉄道の「知」を探る編集委員会「鉄道の「知」を探る」山川出版社（2012）

■定期刊行物部門（1件）

- ・澤内 一晃、星 良助「北海道の私鉄車両」（鉄道友の会『RAILFAN』2007年8月号～2012年6月号掲載）

■特別部門（1件）

- ・「機関車史研究会の一連の著作」（近藤 一郎）に対して

第7回（2014年）選定

■ 単行本部門（2件） ※発行日順

- ・ 浦田 慎（監修・貨物鉄道博物館）「貨車車票の歴史」（2013）
- ・ 服部 重敬「名古屋市電」ネコ・パブリッシング（2013）

■ 定期刊行物部門（2件） ※発行日順

- ・ 斎藤 幹雄「ミャンマーへ行った日本型気動車 2013」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2013年5月号掲載）
- ・ 北村 拓「西武鉄道の旧型国電研究」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2013年12月増刊号掲載）

■ 特別部門（1件）

- ・ 「車両側面のイラストによる一連の著作」（片野 正巳）に対して

第8回（2015年）選定

■ 単行本部門（2件） ※発行日順

- ・ 和田 洋「『阿房列車』の時代と鉄道」交通新聞社（2014）
- ・ 西 裕之「特撰 森林鉄道情景」講談社（2014）

■ 定期刊行物部門（2件） ※発行日順

- ・ 富井 規雄「都市鉄道直通運転のダイヤを考える」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2014年6月号掲載）
- ・ 岩成 政和「戦後ディーゼル機関車発達史の論点、争点、疑問点」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2014年7月号掲載）

■ 特別部門（1件）

- ・ 生方 良雄 小田急電鉄に関する一連の著作

第9回（2016年）選定

■ 単行本部門（2件）

- ・ 高木 宏之「国鉄蒸気機関車史」ネコ・パブリッシング（2015）
- ・ 中村 光司「知られざる連合軍専用客車の全貌」JTBパブリッシング（2015）

■ 定期刊行物部門（1件）

- ・ 野元 浩「狭小トンネル用 PS23 形パンタグラフ」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2015年12月号掲載）

■ 特別部門（2件）

- ・ 「関西の鉄道」ほかの継続出版に対して（関西鉄道研究会）
- ・ 「中国鉄道時刻表」の出版に対して（中国鉄道時刻研究会）

第10回（2017年）選定

- 単行本部門（2件）
 - ・ 中村尚史「海をわたる機関車」吉川弘文館（2016）
 - ・ 大賀寿郎「路面電車発展史」戎光祥出版（2016）
- 定期刊行物部門（1件）
 - ・ フリーランス・プロダクツ「ハイブリッド大全」（交友社『鉄道ファン』2016年1月号掲載）
- 特別部門（3件）
 - ・ 戦後日本の鉄道カラー写真に関する一連の著作に対して（ジェイ・ウォーリー・ヒギンズ）
 - ・ 「昭和天皇御召列車全記録」の編集に対して（新潮社日本鉄道旅行地図帳編集部）
 - ・ 「置戸森林鉄道」の出版に対して（橋爪実）

第11回（2018年）選定

- 単行本部門（2件）
 - ・ 名取紀之「紀州鉾山専用軌道」ネコ・パブリッシング（2017）
 - ・ KEMURI PRO. 「阿里山森林鉄道」南軽出版局（2017）
- 定期刊行物部門（1件）
 - ・ 中山嘉彦「日本初の連節車京阪電気鉄道60型・びわこ号」（『レイル』No. 103掲載）
- 特別部門（1件）
 - ・ 「釧路・根室の簡易軌道」（釧路市立博物館）の出版に対して

第12回（2019年）選定

- 単行本部門（2件）
 - ・ 久保ヒデキ「定山溪鉄道」北海道新聞社（2018）
 - ・ 風間克美「地方私鉄1960年代の回想」OFFICE NATORI（2018）
- 定期刊行物部門（1件）
 - ・ 山本直弘「駅ナンバリング考」（交友社『鉄道ファン』2017年12月号～2018年3月号掲載）
- 特別部門（1件）
 - ・ 「全国蒸気機関車配置表」（イカロス出版）の出版に対して